

## 執筆者紹介

いしかわ かずお  
石川 和男 本学商学部教授

### 〈編集後記〉

一部の科目ではあるが、学生とオフライン（対面）でコミュニケーションがとれることは、大学教員としてやりがいを感じると共に、研究を充実させる刺激を受ける貴重な時間である。一昨年度は当たり前の日常となっていた光景は「当たり前」のことではなかったと気づかされて、1年ほどが経過した。

2021年度はコロナ禍の影響を受けながらも、入学式や新学期ガイダンスを経て、対面授業を盛り込みながら前期のスタートを切ることができた。いまだ予断を許さない状況にはあるが、人材を育てること、社会で生じている現象を対象化して研究することを生業としている本学・本研究所では、コロナ禍において、改めて社会の歪みを脅威として気づかされている。しかし、脅威だけでなく、コロナ禍を機会と受け止め、時に力強く、時にしなやかにアイデアを考えて実行してきた事業者の取り組みには、どうしても目が奪われてしまう。

月報第694号では、2010年頃からの外部環境の変化を整理し、外部環境の変化に耐えうるための食品小売各社の取り組みや複数の事業者との連携の取り組みを考察した石川所員の論考が掲載されている。外部環境の変化への対応は、コロナ禍前から大規模な自然災害の経験の中で、消費者の意識の変化とともに進められたところがある。それに加えて、コロナ禍の中で生じたニーズに応えるため「非接触化」の推進やAI活用による事業者間の連携などが進められているところである。DX時代に先鞭をつけるべく、これまでの常識を超える新たな取り組みには、コロナ禍を生き抜こうとする企業底力を感じるところである。

(N.S.)

---

2021年4月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---